

子ども家庭課

高校生世代の実態調査の実施について

高校生世代が抱える悩みや不安に寄り添い、子どもたちの育ちや権利が保障される居場所づくりを検討するため、高校生世代への実態調査を実施します。

1 背景

高校生世代は、第二次性徴期にあり、身体面の発育がめざましい一方で、自分を確立していくための戸惑いと不安に揺れ動く思春期特有の悩みが増える時期です。そうした悩みについて、相談や外部への支援を求めにくい時期でもあります。

区は、高校生世代を対象とした施設として、子ども中高生プラザ等を設置しており、高校生の自主活動の場として利用されていますが、小学生の時に学童クラブに入会していた高校生の居場所や相談が主になるなど、利用が少ない状況です。

2 目的

内閣府が作成した子供・若者の意識や取り巻く状況の各種指標をまとめた「子供・若者インデックスボード」では、ほっとできる場所、居心地のよい場所（家庭、学校、地域、インターネット空間）の多さと自己認識（自己肯定感、チャレンジ精神など）の前向きさは、おおむね相関関係にあることが示されています。

高校生世代が、安全で安心して過ごし、自己肯定感を高め、成長していくことができる居場所づくりを検討するに当たり、悩みごとや支援ニーズを把握するため、高校生世代及びその保護者を対象に実態調査を実施します。

3 調査概要

(1) 調査対象

区内在住の高校生世代約5,000人及びその保護者5,000人

(2) 主な調査項目

家庭・学校以外での活動場所、悩みごと、相談先、支援ニーズ 等

(3) 調査方法

調査票を郵送し、紙媒体又はオンラインで回答を回収

(4) 調査期間

令和5年3月から4月まで

(5) その他

区内高校の教諭、子ども中高生プラザ等の施設職員にヒアリング

4 予定経費（補正額）

5, 550千円

5 今後のスケジュール（予定）

令和4年11月	令和4年第4回港区議会定例会（調査経費等の補正 予算案の提出）
令和5年3月～4月	調査期間
5月～7月	集計・分析
9月	結果報告のまとめ